

# 日本語解析技術を活かした 点字関連製品

## ニーズとシーズのマッチング

金子社長は元々情報通信系の記者であった。情報分野市場が拡大し始めた昭和61年、自らの人脈や情報（知識）を基に時代の風を読み、時流に乗る手ごたえを感じた金子社長は、知人のソフトウェア技術者とコンピュータソフトウェア開発会社を設立した。

そして、日本語文章解析ソフトウェアの開発プロジェクトを手がけるなかで、「自然言語の理論」に関するソフトウェア開発の技術力、日本語解析技術を蓄積していった。

福祉分野に進出するキッカケは、世田谷区役所の障害者担当者から、視覚障害者向けに点字の文章を作成したいとの要望を耳にしたことである。文字を点字に変換するには決まったルールがあり、当社の日本語解析技術を活かせば、ソフトウェアが開発できると考え、点字翻訳ソフトを開発した。従来は、点字の専門家でなくては点字文書が作成できないようなソフトウェアしか、市販されていなかった。しかし、本製品は難しい点字のルールを覚える必要なく、ワープロ感覚で文章を入力するだけで、自動的に点字文書に変換・編集できるソフトである。その後、点字プリンター、点字読取装置、点字ディスプレイなどの開発、生産へと事

業を拡大していった。現在、売上高の1/3は福祉関係である。

## 飽くなき製品開発

点字翻訳ソフトは自社で開発したが、点字読取装置は熊本県電子応用研究所と共同開発した。他にも、くまもとテクノ財団、熊本県産業局などとも連携を図って開発を続けている。

当社の点字プリンターは音が静かなことが売りで、オルゴールの様なドラムを用いる方式で特許を取得している。従来の点字プリンターは音が大きいことが欠点で、点字印刷専用の部屋を設けるなどして対処していたが、当社の製品によりどこでも常時使えるようになった。また、両面印刷可能な機種と、高速印刷可能な機種も開発製品化した。これらを含めニーズに応じた計4機種を販売している。特に点字と墨字が同一の用紙に印刷できるプリンター「DOG-Multi」は世界初の製品である。さらに日本語の点字と墨字の組み合わせのみでなく、他の言語対応の機種も「Gemini」という機種名で製品化した。この製品は東京都のベンチャー技術大賞の特別賞を受賞することが出来た。その後、点字プリンター全機種に音声ガイドをつける改良も行った。

**DOG-Multi**



点字プリンター

**Gemini**



多言語対応の点字プリンター

**SEIKA**



点字ディスプレイ

## 企業概要

**（株）日本テレソフト**  
 東京都千代田区麹町 1-8-1 半蔵門 MK ビル 1F  
 URL: <http://www.nippontelesoft.com/>  
 代表取締役 金子 秀明  
 資本金 3,000 万円  
 業種 電気機器製造販売業  
 主要製品 点字プリンタ DOG-MULTI（国内用）・  
 JEMINI（海外用）

## ビジネスナビゲータの活躍でコストダウン

会社との付き合いは、平成 14 年に新製品新技術開発助成金を利用したことがキッカケである。これによりニューマーケット開拓支援事業へも申請し支援対象製品となった。本事業を利用したことによるメリットの一つとしては、信用力の向上が上げられる。点字プリンター等のような福祉関連製品の売り込みは、学校、自治体、病院などの公的な機関が主体となるが、東京都の支援製品ということで、スムーズに話が出来るようになった。

しかし、それ以上に大きなメリットはビジネスナビゲータの活躍によるコストダウンである。ユーザーの声を製品に反映していたが量産が難しかったため、価格が従来品よりも 2～3 割程度高くなってしまっていた。製品を市場に広めるためには、コストダウンが当社にとって大きな課題となっていたのである。

そこで、その課題を解決すべくビジネスナビゲータ数名でプロジェクトチームを結成した。その中でまず設計思想から練り直すことでコスト削減を図った。1 機種ごとに追加機能の部品を調達して製品化するの

はなく、できるだけ、全機能を搭載した構成から不要な部品を抜くような設計思想をとった。また、複数機種での部品の共通化を図ることで調達コストを低減させた。さらに、ビジネスナビゲータのネットワークを駆使し、仕入れコストの削減を図るとともに、できる限りの外注の内製化を図り、製造コストの削減を図ったのである。これらの活動により、販路・技術ネットワークが広がったことも大きなメリットとなった。

## 積極的な海外展開

日本国内は既にある程度のシェアを獲得しているため、これからは海外展開を図っていく。積極的に海外の展示会にも出展し、代理店も設置している。最近、米国の展示会に出展したところ、ヒューレット・パカード社の目に留まり、技術協力が得られることになった。また、点字ディスプレイについては、中国の清華大学と共同開発をしており、製品名を「清華 Seika」とした。今後は欧米のほかにも中国、韓国やインドなどアジアも視野に入れていくという。更なる飛躍が期待できそうだ。

### ナビゲータの声

ビジネスナビゲータとして、初めて金子社長にお会いして以来、3年半のお付き合いになるが、その間、日本テレソフトの点字プリンターは海外向けを中心に大きく発展された。これも一重に製品の素晴らしさと金子社長の的確な戦略と積極的な事業展開によるものと、大いに敬服している。私自身、ベトナムの盲人協会向け案件をワークする一方、技術系のビジネスナビゲータを含む「同社支援プロジェクトチーム」を結成、参加したビジネスナビゲータより製造コスト削減と海外向けの販路開拓のためのアドバイスをさせて頂いた。その後、海外向けも大きく伸び、コストダウンと製品の内製化に成功されたとお聞きしうれしく思っている。金子社長の素晴らしいリーダーシップの下、同社が益々発展されることを大いに期待している。

### 企業の声

点字プリンターはたとえ値を下げたとしてもすぐに売れるような製品ではなく、とても売り方が難しい商品です。こういった製品を扱う当社にとって、ビジネスナビゲータの支援はとても強力なものとなっています。ビジネスナビゲータの方たちは私の先輩の年代なので何でも相談しやすく、また、そのような大先輩と活動できると自信を持ってできます。さらに、営業活動では細かい話までつめてくれることが大きいです。例えばベトナムに輸出を行ったときも、ベトナム内部の事情に詳しい方がいたので実現できました。ナビゲータがいなかったら出来なかったと思います。会社との付き合いは、平成 14 年度に研究開発の助成金を申請したことがキッカケでした。当社は会社の支援を最も活用している企業ではないかと思いますが、これからもどんどん活用していくつもりです。